

ほくほく ケアマネ通信



第8号

ほくほくセンター（柏北部地域包括支援センター）

令和4年9月発行

柏市小青田1-2-7 アスタリスク102号 TEL: 7140-8818 e-mail: kashiwa-hn@aokikai.jp

ケアマネの業務には多くの方々との関わりが生まれます。私たちは諸先輩がたの今までの歩まれた道を伺い今後の計画のお手伝いをする。仕事とはいえ貴重な体験や学びをえることができ、さらに感謝の言葉をいただくことが多く有難いことだと感じております。しかし、ときに「ハラスメント」に相当するような場面に遭遇することが誰しも大なり小なりあると思います。ケアマネだから我慢しなくてはならないなんてナンセンス。でもありがちなのです。6月のほくほくスーパービジョンはハラスメントのケースでした。仕事をするうえで自分自身を守ることはとても大事です。今後の課題として 包括も皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

センター長 山本 敏子



柏北部地域包括支援センターでは、皆様の学びの場の提供は止めない決意で、偶数月第一木曜日の18時から、「ほくほくスーパービジョン」を開催しております。

オンライン・参集型を状況にあわせて変えています。どなたでも興味のある方、多職種のアピールタイムもありますので、ぜひご参加下さい。

ほくほく イチ押し 情報



ほくほくセンターにて
各種勉強会を行いました

『耳の聞こえと補聴器を知っていただく講演会』 R4.8.18

フランスベットとパナソニック補聴器株式会社の協賛



＜高齢者の感音性難聴の特徴＞

- ① 子音が聞こえづらい
さ→SA→あ さんこ→あんこ
これが聞き間違いの原因!?
- ② 小さな音が聞こえづらい。
- ③ 高音域が聞こえづらい

難聴は認知症発症要因のひとつ。難聴の早期診断・早期発見、そして補聴器による聴覚補償が、認知症の発症予防につながる可能性があります。

高齢者の約6人に一人の割合で認知症があるとされていますが、アメリカの研究では「難聴になると認知症のリスクが高まる。」と発表されています。難聴にきちんと対応していくことが出来れば積極的に認知症を予防していくことができるということです。



補聴器の形状については、耳掛け型、耳あな型、ポケット型があります。それぞれに特徴があるので、使えないとあきらめる前に、専門の方に相談しながら、できるだけ早期装用をお勧めしましょう。

『セリオの電動カート・電動車椅子・電動三輪車の試乗会』 R4.8.25

高齢者の自立した外出を支援しようと、体験してみました！

たなか地区は、公共の交通機関がなく、お店も少ない地域もあり、80代でも車が手放せない方も多々おります。そのため「そろそろ運転は止めよう。」との声かけも心苦しいことが度々あります。そんな私たち包括支援センターで実際に体験しました。



予想以上に快適。扱いも楽。その方にあった調整ができる。

等々、意見が多数出ました。興味のある方は、数台を試乗してもらいましょう。

主マネ 杉村のおすすめ ～電動車いす～

手動車椅子と同じ感覚で操作ができ、介助者が上り坂でも下り坂でも楽々介助ができます。坂の途中で止まった時に手を放しても下がってきません。下り坂でも自動でブレーキがかかります。自走式であれば、電動と手動の切り替えができ、自分で車いすを動かし微調整ができます。



『消化にあんしんシリーズ お弁当の試食会』 R4.9.1

疾患により消化吸収機能が低下した方から、ちょっと胃腸に不安のある方まで幅広く安心と食べる喜びを「食卓の名医™」

- タンパク質・食物繊維があらかじめ分解されているので消化にやさしい。
- 食材の見た目はそのままに、スプーンで簡単に押しつぶせるほどの柔らかさ。
- 煮込む・ゆでる等の調理で失われがちな栄養素が保持されやすい。



味はもちろんのこと、素材本来の見た目と彩りにこだわって、食欲がわく見た目になっています！



お弁当は冷凍7食セット、14食セット。行事・お祝い食、食材セットもあります。おせち料理もあるそうです。食材セットならおうちの味付けも楽しめますよ。

